

経営学委員会・総合工学委員会合同 サービス学分科会

サービス学の教育実装に関する小委員会 (第24期・第4回)

議事録

1. 日時 平成31年1月29日(火) 10:00~12:00
2. 会場 日本学術会議6階6-A(1)
3. 出席者 大倉典子、鈴木久敏、柘植綾夫、椿広計、西尾チヅル、平田貞代、山本昭二(五十音順、敬称略)
4. 配布 「サービス学小委員会でのこれからの議論について」

5. 議事概要

1) 今年度活動のまとめ

1.1) 日本におけるサービス学教育の実態の理解

統計教育大学間連携ネットワークプロジェクトによるデータサイエンスコース、および、筑波大学におけるサービス工学学位プログラムの実例に基づき、サービス学教育実装に必要なプロセスや課題について理解を深めた。

1.2) 各委員によるサービス学教育に関する経験や見解に基づく議論

サービス学教育を実現するための教育方法、および、サービス学の学術的知識体系は未だ確立されているとは言えない。既存のサービスの知識の構造化や、強化すべき領域を厳選したうえでの産学連携による捕捉開発により確立する、といった戦略の立案が必要である。サービス学の教育の実装と持続には、学術的教育体系としての成立および教育経営としての成立の両輪が必要であり、その落としどころを見出す必要がある。

2) 次年度活動事項に関する議論

山本委員長から提供された配布資料「サービス学小委員会でのこれからの議論について」に基づき、サービス学の教育実装について討議を行った。

昨年度公開したサービス学参照基準の教育機関へ展開の一環として、次年度の夏から秋の時期にシンポジウムを開催し、有識者の講演、および、学術会議以外の方々を交えてのサービス学の応用に関する議論の場を設けたい。

3) 次回の小委員会の開催

2019年3月に次回の小委員会を開催し、分科会への報告内容を確定する。

以上